

抱え上げない介護技術をあたりまえのケアに！【二部】(H30.9.16) アンケート結果 67人中29名回収

	所属	1. 活動報告会に参加して	2. 今後の活動に関して
1	リハ職	各県の活動報告を聞いて、頑張っているなと思いました。私たち地域も少しずつでも活動を増やし仲間を増やしていきたいと思いました。	
2	リハ職	田川まで遠かったですが、とても勉強になりました。又、チェッカーさんに伝える言葉選びや声の大きさなど難しく、今後人に伝えていく為に、自信を持って話し伝えられるよう頑張ります。ありがとうございました。	特にありません。
3	福祉用具専門相談員	できなかったことも大事ですが、何ができたのかを評価することも大切だと思いました。大分チームの目的が何なのかもう一度チームのメンバーの議論することが大切だと思います。手段を行うためのチームマネジメントもしっかり確実に行っていきたいと思っています。	今後もどんどん参加したいと思います。まだまだ未熟ですので勉強させていただきます。
4	介護職	当施設内での活動しか行っていない現状ですので、良い学びと出会いの場になりました。	当施設は県立大からも近いので今後も実技技能を磨く場を作っただけだと、他職員にも学ぶチャンスが回ってくるので助かります。
5	ケアマネ	昨日の参加はしなかったのですが、今後地域に情報を伝えていく必要性を感じ、すぐ出来る事から頑張ろうと思います。	今後も引き続き介護技術の勉強を続けきちんと伝えられる技術を身につけたいと思います。
6	介護職(管理職)	自分たちの1年間の見直しと他のチームの取り組みに参考になることばかりでした。下元先生の助言もとても細かく的確で、過ぎに取り組みないといけなさと感じました。	
7	介護職	それぞれの地域でいろいろなアプローチ方法がありました。有効な方法(効果的な)過去の成功体験などがあれば聞いて参考にしたいです。	
8	介護職	たくさんの施設の発表を聞き、自分の施設でも良い部分を取り入れて実践して、スタッフ間で共有して抱え上げない介護を行っていきます。	
9	リハ職	指導できる力、マネジメントできる力をしっかりつけていきたいです。	
10	リハ職	指導者、伝達者の育成はどの地区も不足しているように感じた。	マネジメント研修もやってほしい
11	ケアマネ	下元先生の助言すべてに実現には具体的な取り組みの過程が必要と言われました。役割分担、数値目標決めて頑張ります。	
12	リハ職	個々の活動を通して見えてきた課題がありつつも、「何をしようとしているのか、明確に考えないといけない(見直しをつける)」と誰にも(いつも)いえるとわかりました。いつも、そこに立ち戻るようにします。	
13	リハ職	他地域の活動を聞いて大変参考になりました。目標すら忘れていた状態だったため、まずは目標を常に念頭において、今何をすべきか考えていきたいと思いました。	
14	介護職、ケアマネ	少しずつでも計画的に活動しないといけないと思いました。PDCAサイクルをしっかりと活用しようと思います。	
15	看護職	各エリアの活動はよく理解でき、今後、自施設での取り組みに取り入れていきたいと思った。	自施設で取り組みたいので、知識、技術を学ぶための勉強会、研修会に参加していきたい。その情報がほしい。
16	介護職	正直、北九州で取り組んでいることも知りませんでした。各エリアの活動内容を知る事ができて良かったです。	抱え上げない介護の方法や福祉用具の使い方について、もっと知りたいと思いました。
17	介護職	取り組んで良い事、上手い出来ない事、具体的な話聞けて良かったです。	なちゅは佐賀で勉強会を続けていきます。
18	ケアマネ(管理職)	福祉用具、購入の助成金、抱え上げないケアの普及の方法、講師の人材育成、目標と期間を決めて進めていく。座学でグループワークをし、アウトプットする時間が必要。	実技を学んでいきたい。(グローブ、シート等)
19	ケアマネ	各グループからの貴重な報告を聞いたのは良かったが、休憩時間なしで3時間連続は人の集中力が持続できる時間を大幅に超過しており、途中全く頭に入らなかつた。「トイレはご自由に・・・」できゅけいの代わりにするにはどうかと思う。より有意義な研修となるよう、適宜(概ね90分ごとに1回)休憩があった方が良く思う。	
20	介護職	地域の様々な課題が知りえ得た	来年に参加する仲間を増やし、研修会に参加。
21	介護職	プロジェクトメンバーの発表を聞いて、努力されて広めていっているんだなと思いました。今後の活動も頑張っしてほしいと思います。	
22	介護職	各ブロックで「抱え上げない介護」の進展の難しさや、伝える事の難しさを学んだ。	
23	介護職	代表の方々の取り組みを聞く事ができて参考になりました。長時間座っているのは苦痛で集中力も途切れてしまいます。できれば短時間でよいので休憩を入れて頂ければと思います。	研修会、勉強会にできるだけ参加して自己研鑽したいと思います。
24	看護職	各所属で取り組みがあり、いろいろな視点に気づきました。行政への働きかけ方、地域の活動内への参加で医療者などが知識が広がっていると思った。利用者や家族側の意見を聞いて取り組みたいです。	チーム間仲間のコミュニケーションをもっととって協力していけたらいいと思います。
25	看護職	どの県のチームも積極的に活動をしており、発表内容はとても参考になった。自施設でも実践できそうなこともありました。患者、利用者、職員にとってとても良いことだと思っています。(どちらを守るためにも)実践するようになり、患者さんの表皮剥離、内出血は減少しています。	介護技術は私自身とても未熟で、まだまだ学習して訓練しないといけないと思っているので、この施設に行けば教えてもらえるなどあれば教えてください。
26	リハ職	助成金の話、公的機関とのつながりなど参考になった。	リフトなどいろいろな種類があるが、どのメーカーの物が使いやすいか、各メーカーの特徴など参考になるものがあれば助かります。
27	その他	各地区での取り組みご苦労様です。少しずつでも進んでいくように種をまいていくことなのですね。	
28	リハ職	各県でさまざまに動かれているが、定着していないところも多かった。今後の広報に期待。	
29	リハ職	計画、目標設置の具体化、期間設定、逆算。定期的なフォロー要。介護労働安定センターを介す、労働局。普及or人材育成。広め方:施設へのメリットを明確、数値化(現状からの比較)。仲間づくり:1施設から3名。座学:グループワーク、アウトプット。	熊本でのノーリフトにご協力頂ければと思います。